



# きずな

## 第14回 山崎七郎杯 兼全道少年U-10 サッカー少年団大会 札幌地区予選

コンサドーレB、LIV. FC、  
Fibra. FC、SSS、札幌藻南  
FC. KITAGO、札幌ジュニア  
コンサドーレA、西園、  
ベアフット北海道

### 全道大会進出おめでとう！！

札幌地区代表を目指して、とても熱い試合が繰り広げられ、上記 10 チームが全道大会に進出しました。札幌の代表として全道大会でも大活躍をしてくださいました。

会場はSSAP 人工芝(A・B)コンサドーレ札幌東雁来グラウンド(A・B)で行いました。

6月24日(日)		
SSS コラソン	コンサドーレB	
1	1-2 0-3	5

両チームとも、序盤から攻守の切り替えが早く、一進一退の攻防。その均衡を破ったのはコンサドーレB。前半4分 ゴール前のボールに素早く反応した3番が先制ゴール。直後にSSSコラソンも負けじと6番が同点ゴール。より両チームのボールへの争いが激しくなる中、前半10分にコンサドーレB

は10番が勝ち越しゴール。後半は開始1分と3分にコンサドーレBの16番が立て続けてゴール。一気に流れを引き寄せた。後半は終始ゲームを優位に進めたコンサドーレBが後半10分にも17番がゴールを決め、試合を決定づけた。

6月25日(日)		
LIV. FC	NORTE札幌	
3	1-0 2-0	0

前半3分LIV. FC29番が左サイドからクロス上げるが5番の選手に合わず…前半5分にも右コーナー付近のスローインを受け、決定的なシュートを放つも相手ディフェンダーに当たる。前半8分NORTE札幌12番GKの好セーブが続いたが左コーナーキックを5番がヘッドで合わせてゴール。後半も両チームがゴールを狙うが、決定的なチャンスをしっかり決めたLIV. FCが勝利を収めた。

6月25日(日)		
Fibra.FC	拓北	
1	0-0 0-0 延長1-0	0

開始から両チームの硬直状態が続く。シュート本数は前後半ともFibraが上回るものの決めるには至らず、結局前後半12分ずつでは決着がつかず延長戦へ…延長戦に入っても大きく流れは変わらず、このままPK戦に突入かと思われた終了間際にFibraがフリーキックを獲得。それを32番が落着いてゴールすると同時に延長戦がタイムアップとなった。

6月25日(日)		
SSS	元町FC	
3	1-0 2-0	0

前半6分GKと1対1となるがSSS4番のシュートはゴール左へ逸れる。前半10分SSS10番が左から中央に向かってドリブル、そのまま抜け出しゴールを決めた。後半もゴールポストに当たるシュートを放つ等、SSSの攻撃は続いた。元町FC28番GKの好セーブはあったが、SSSが勝利。

6月25日(日)		
札幌藻南	FC.DENOVA	
3	2-1 1-0	1

試合開始早々、FC.DENOVA9番の浮いたシュートをGKがハンプルしゴール。

その後、前半4分に藻南6番がミドルシュートを放ち同点にするがFC.DENOVA9番がハットトリックを達成する活躍をし、決着が着いた。

6月25日(日)		
FC.KITAGO	コンサドーレC	
0 PK3	0-0 0-0 延長0-0 PK3-1	0 PK1

前後半とも両チーム中盤でのプレスが素晴らしく、チャンスらしいチャンスもなく終了。延長でも足が止まることもなく攻防が続きタイムアップ。PK戦に突入。コンサドーレC1人目をFC.KITAGOのGKがセーブ。対してFC.KITAGOは3人ともきっちり決めて試合終了。

6月25日(日)		
札幌ジュニア	前田中央	
9	6-0 3-0	0

札幌ジュニアは味方のパスを受けてからのシュートがとても上手だった。トラップをしてからのシュートやダイレクトのシュートなど場面に合わせたブ

レーがゴールに繋がっていた。悪い流れを変えたい前田中央だったがPKも与えてしまい、追加点は増えていった。

6月25日(日)		
アスクラロ札幌	コンサドーレA	
0	0-1 0-4	5

前半10分コンサドーレA6番の縦パスを16番が受け右足でゴールを決めた。後半はアスクラロも相手クリアミスボールを奪いシュートを放つも決めきれず…その後はスルーパスからのシュートやミドルシュート・ファーストタッチでGKをかわしてシュート等、コンサドーレAが得点を積み重ねた。

6月25日(日)		
西園	西野第二	
4	1-0 3-0	0

試合開始はゴールが決まらない時間が続いたが、西園9番ドリブルからシュートを決めて均衡を破った。後半は西園が得点を重ね、後半終了間際も西園14番が落ち着いてFKを決めた。

6月25日(日)		
JSNレッド	ベアフット北海道	
0 PK5	0-0 0-0 延長0-0 PK5-6	0 PK6

前半ベアフット北海道のシュートは何度もポスト・バーに阻まれる…

前半7分ベアフット北海道8番のシュートはGK正面。前半8分コーナーキックから11番ヘディングで合わせるもゴール上へ外れる。

後半6分はJSNレッドのチャンス。フリーキックを11番が狙うも相手の壁に当たりコーナーへ…ゴールは決まらないまま、延長へ入るも得点は動かずPK戦へ。

両者譲らない長い戦いはベアフット北海道の勝利で幕を閉じた。



今年度の決勝戦は少し雨が降りましたが去年に比べるととても天候に恵まれたと思います。  
夕方頃はとても肌寒く、震えている選手や応援団もいましたが最後まで熱い試合が多かったように感じます。  
大会スタッフや審判団・参加チームや保護者の皆様全員の協力のもと素晴らしい大会になりました。